

令和3年度一宮市博物館「博物館実習」実施要項

- 1、実習生の住所地・帰省先は、「尾張西部広域行政圏協議会」を構成する2市（一宮市・稲沢市）であること。ただし、申込者が定員に満たない場合はその限りではない。
- 2、当館が人文系歴史博物館であるため、実習生の大学における専攻分野は、考古、民俗、歴史、美術工芸のいずれかであることが望ましい。
- 3、実習生の受入は6名とし、各大学2名までとする。
※受入人数を超過した場合は、書類選考により受入実習生を選考する。
※都合により、定員を変更することがある。
- 4、実習期間中の無断遅刻・早退・欠席は認めない。やむを得ない場合は、担当学芸員と相談すること。
- 5、実習期間は下記のとおりとする。
日程：令和3年8月3日（火）～7日（土）
時間：AM9：30～PM4：30
- 6、応募受付期間は令和3年1月13日（水）～2月27日（土）まで（必着）。
応募者は、下記の条件を満たす履歴書とレポートを、大学を通じて提出すること。
 - (1) 履歴書には、卒業論文のテーマまたは専攻する分野を記載すること。
 - (2) レポートの内容は下記の条件を満たすものであること。
テーマ「博物館・美術館の展示について」文字数 2,000文字程度
一宮市博物館を除く博物館ないし美術館の展示を実際に観覧した上で、展示のコンセプトや工夫がどのようなものかを考える。
- 7、実習受入の可否の結果は、3月末までに博物館から大学の担当者宛に送付するため、84円切手を貼った長形の返信用封筒を同封すること。
- 8、謝礼の類は一切不要である。